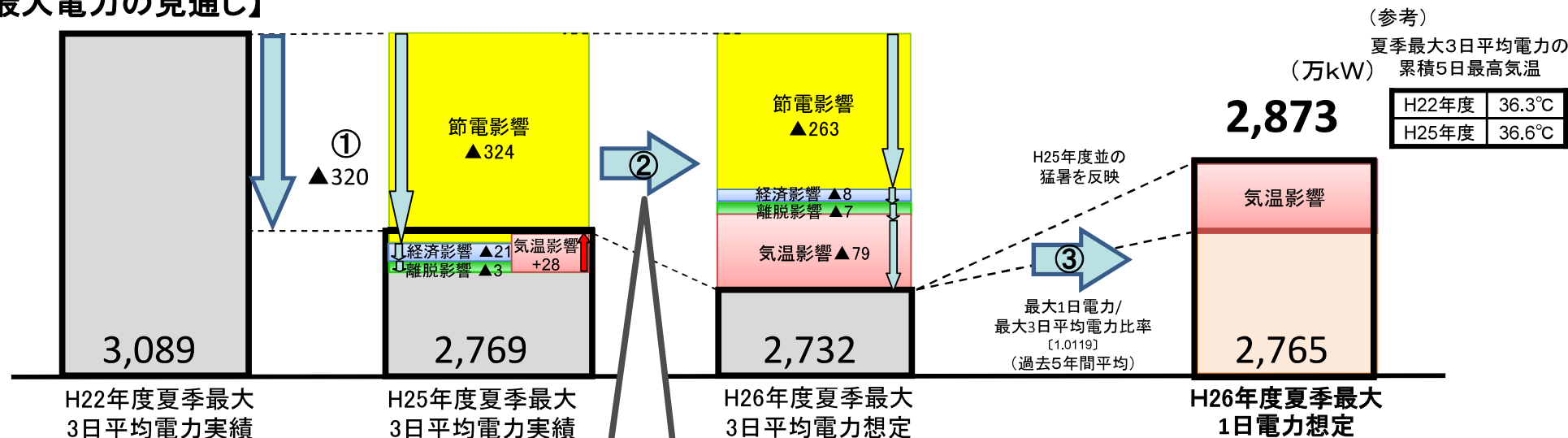


今夏の需給見通しについて

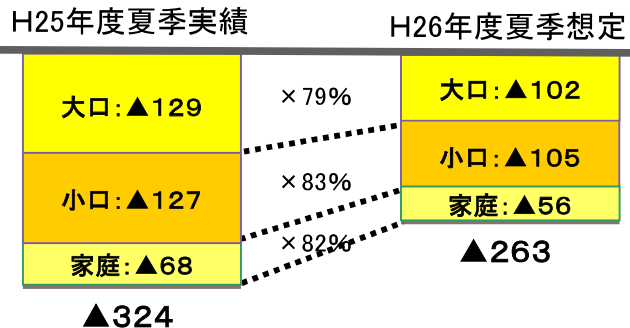
平成26年6月21日
関西電力株式会社

今夏の最大電力想定の方考え方について

【最大電力の見通し】



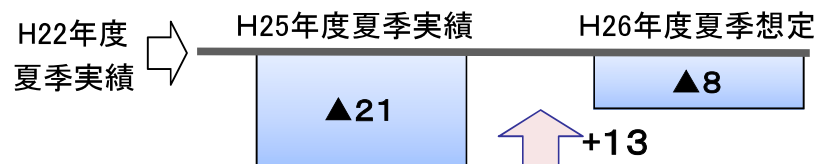
【②-1:節電影響の見通し】



【定着節電アンケート結果(H26.2実施)】

	定着率	サンプル数
大口	79%	411件
小口	83%	538件
家庭	82%	1,071件

【②-2:経済影響の見通し】



- ①: H25年度夏季の節電影響、経済影響、気温影響、離脱影響をH22年度とH25年度の夏季実績を比較して算出しています。
- ②-1: 節電影響は、至近のアンケート結果に基づいた大口、小口、家庭別の節電定着率により、▲263万kWと想定しています。
- ②-2: 今夏の経済影響は、今後の景気拡大を織込み、リーマンショックから大きく景気が回復したH22年度夏季と比較すると依然としてマイナスであるものの、H25年度夏季と比べ+13万kWとなる、▲8万kWと想定しています。
- ③: H25年度並の猛暑を反映した今夏の最大1日電力は、最大1日電力/最大3日平均電力比率の過去5年間平均を用いて、2,873万kWになるものと想定しています。

今夏の需給見通し(8月:原子力の再起動がない場合)

[万kW]

2

	①昨夏想定	②今夏想定	差分 (②-①)	備考
供給力-需要 (予備率)	87 (3.0%)	87 (3.0%)		(凡例) ☆ 計上の考え方 ○ 昨夏との差分
需要	2,845	2,873	+28	○H25年度並猛暑を想定(+28)
供給力(合計)	2,932	2,960	+29	
原子力	236	0	▲236	☆稼働していない原子力は、再起動がない場合として計上しない ○大飯3・4号機の停止による減(▲236)
水力	205	209	+4	☆天候によらず安定的な供給力として下位5日の平均から算定 ○川原樋川他の台風被害からの復旧等による増等
火力	1,478	1,633	+155	☆設備更新工事の工程前倒しの反映と試運転の計上 ○姫路第二1~5号機(+207) ※4・5号機試運転を含む ○姫路第二既設4号機の廃止(▲45) ☆夏季補修の回避と定期検査の繰り延べ ※全台運転 ☆火力の増出力、緊急設置電源、吸気冷却装置の活用 ○実績評価による減(▲7)等
揚水	420	414	▲7	☆想定需要とベース供給力から算定
新エネ	0.3	0.3	0	
他社・融通	591	704	+113	☆太陽光は高需要発生日の下位5日の平均から算定 ○固定買取制度による至近の普及状況等による増(+33)
他社	525	537	+12	☆必要予備力を確保できるよう調達を計画 ○IPPの契約満了等に伴う減(▲21)
水力・揚水	68	67	▲1	○応援融通の増(+89)
火力	436	416	▲21	応援融通受電量 計149 (中部電力91、北陸電力11、中国電力9、東京電力38)
新エネ	21	54	+33	○新電力からの調達の増等(+12)
融通等	66	167	+101	

※四捨五入のため合計が合わないことがあります。

○今夏は、想定需要2,873万kW(1日最大電力・H25年度並の猛暑)に対して、姫路第二発電所設備更新工事の前倒しや火力の夏季補修の回避、震災特例の適用による火力の法定点検の繰り延べ等を行っても、自社では大きく不足する厳しい状況であり、中西各社からの最大限の応援融通受電に加え、東京電力からも受電することにより、辛うじて予備率3%を確保できる見通しです。

今夏の需給見通し(原子力の再起動がない場合)

3

(万kW)

	7月	8月
需要	2,873	2,873
供給力	2,960	2,960
予備力	87	87
予備率	3.0%	3.0%

供給力内訳	原子力	0	0
	水力	228	209
	火力	1,599	1,633
	揚水	410	414
	新エネ	0.3	0.3
	他社・融通	722	704

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある

今夏の節電・省エネのお願いと需要側の取組み

4

- 今夏、当社管内では電力を供給する上で最低限必要な予備率3%を辛うじて確保できる見通しがありますが、需要の想定において、定着した節電分として263万kW（平成22年度最大電力比▲8.5%）を見込んでいることから、この夏において、着実な節電・省エネにご協力を賜りますよう、お願いいたします。
- さらに、発電所のトラブルなど、不測の事態により、電力需給のひっ迫が予想される場合には、お客さまの健康に影響を与えない範囲、ライフライン機能等の維持や生産活動に支障のない範囲で、可能な限りの節電にご協力いただきますよう、お願いいたします。

<参考：政府の節電要請内容および期間・時間>

要請内容：国民生活や経済活動等への影響を極力回避した無理のない形で、確実に行われるよう、「数値目標を伴わない節電」を要請する。

※需給見通しには、平成22年度最大電力比で▲8.5%（関西電力管内）の定着節電分の需要減少を見込んでおり、これは、節電を行うに当たっての目安となる。

期間・時間：平成26年7月1日（火）～平成26年9月30日（火）までの平日9時～20時
（ただし、8月13日（水）～15日（金）までを除く）

<お客さまに節電にご協力いただくための主な取組み>

- ホームページにて、電力需給のお知らせ
- ホームページや検針票裏面等にて、節電・省エネのPR
- ご訪問や電気ご使用量のお知らせサービスの活用による節電・省エネのお願い
- 計画調整契約によるピーク時間帯の負荷調整の取組み（法人のお客さま）

<需給逼迫時における需要抑制に向けた主な取組み>

- 瞬時調整特約による需要抑制の取組み（法人のお客さま）
- 通告ネガワット特約による需要抑制の取組み（法人のお客さま）
- BEMSアグリゲーターとの協業による需要抑制の取組み（法人のお客さま）
- 需給逼迫のお知らせメールによる電力需給のお知らせ

今夏の電力需給情報等のホームページへの掲載について

<p>電力需給のお知らせ (6/30[月]項目切替)</p>	<p>【掲載時刻】 毎日9:30頃、18:30頃 【掲載内容】 毎日の需給予想 【掲載項目】 使用率(顔マークなし)[ピーク時、時間帯別]、予想最大電力、ピーク時供給力、需要予想[時間帯別]、需要実績[3分値、時間帯別]、供給力の内訳など(H25夏と同様)</p>
<p>週間電力需給のお知らせ (6/30[月]掲載開始)</p>	<p>【掲載時刻】 毎週金曜日18:30頃(日々の更新なし) 【掲載内容】 翌週(平日月～金)※の需給予想 【掲載項目】 使用率(顔マークなし)、予想最大電力、ピーク時供給力、供給力の内訳など(H25夏と同様)</p>
<p>翌々週の需給見通し (6/30[月]掲載開始)</p>	<p>【掲載時刻】 毎週金曜日18:30頃(日々の更新なし) 【掲載内容】 翌々週(平日月～金の1点情報)※の需給予想 【掲載項目】 使用率(顔マークなし)、予想最大電力、ピーク時供給力、供給力の内訳など(H25夏と同様)</p>

※土日祝・8月13日(水)～8月15日(金)は対象日から除く

※需給逼迫のお知らせメール

電気の使用率が97%を超過する見込みとなった際、電子メールにてその時間帯をお知らせする「需給逼迫のお知らせメール」の新規登録の受付を、5月16日(金)よりホームページにて開始いたします。(既にご登録いただいている場合は、改めてのご登録は不要です。)

■電力需給のお知らせ



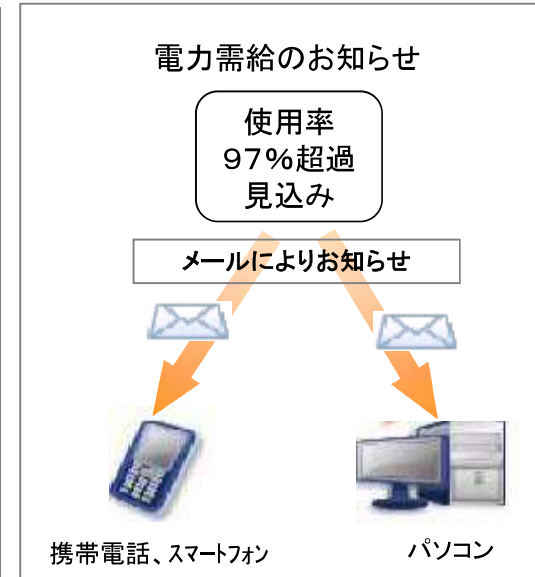
■週間電力需給のお知らせ



■翌々週の需給見通し



■需給逼迫のお知らせメール



※図はすべてイメージです